



川を遊ぶ人、集合。 何が面白い芥川!?

世界最大級の水族館「海遊館」。開業30年経過した今でも、ジンベエザメなどの常設展示で国内来場者の約60%がリピーターとなっています。その水族館立ち上げ当時、苦労の末、初代ジンベエザメを大阪の海遊館へ連れてきたのが、高槻市で生まれ育った下村氏。

海遊館立ち上げ当時のエピソードや高校まで芥川で魚とりに明け暮れた思い出を講演いただきます。また、川遊びに夢中になった各世代の方々をお招きし、芥川のさまざまな魅力や今後の活動について自由楽しく意見交換をしたいと思っております。みなさま、ぜひこの機会にご参加ください。

日時 令和7年2月8日(土)
午後2時～4時(開場1時30分)

会場 高槻市総合センター13階 職員研修室

定員 70人(申込順・無料)

申込期間 令和7年1月6日(月)～2月5日(水)

申込方法 簡易電子申込(市ホームページ)



申込はこちら

講師 下村 実(しもむらみのる)さん

近畿大学農学部卒業後、海遊館の立ち上げに携わり、以降生物の飼育を中心に30年以上勤務。その後、京都水族館、すみだ水族館の立ち上げに関わり京都水族館長を経て、令和2年より四国水族館飼育展示部長。

令和6年4月より公益財団法人日本モンキーセンター附属世界サル類動物園・園長に就任。近著「水族館飼育係だけが見られる世界」

パネルディスカッション

コーディネーター: 中瀬 勲さん(兵庫県立人と自然の博物館名誉館長)

パネリスト: 下村 実さん(公益財団法人日本モンキーセンター附属世界サル類動物園・園長)

パネリスト: 竹信 勇作さん・竹信 ちはるさん(芥川トコロジスト調査隊)

パネリスト: 中川 和樹さん(芥川たのしみ隊)

パネリスト: 大宅 敏夫さん(ハグロトンボしらべ隊)